

対話の集い
移動市長室



私たちのまち『大館』の

今と未来を語り合う

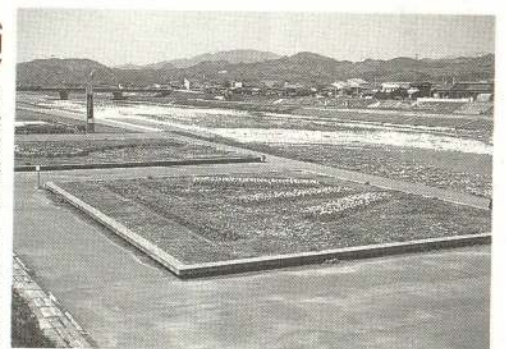
市では、健康で明るく、潤いのある『ふるさと大館』を築くため、毎年対話の集いを開いています。今年七月二十六日から八月三十一日まで、十九会場で開催しました。市民の皆さんからは、身近な問題から市の将来にわたる問題まで、市政に対する卒直なご意見・ご要望が五百七十七件も寄せられました。今号では、その中から主なものをお伝えします。

建設関係

◇道路関係

〔問〕相染町や田代町、旭ヶ丘など、市街地には二メートルに満たない生活道路が多い。緊急時には特に憂慮されるので、道路の拡幅・改良を急ぐべきだ。
〔答〕市では今年度、市内全域を対象に道路、憩いの場、交通開放空間、生活関連施設など、住環境上どこにどのような問題があるかを調査しています。これは、

今後、市民のゆとりと潤いのある住環境を確保するための指針にするものです。この調査が終了し次第、住環境整備のマスタープランを策定し、順次事業に着手していきたいと考えますので、ご理解願います。
〔問〕下町橋上流の長木川河川敷を早急に整備してほしい。
〔答〕現在、平成四年度までの計画で、近隣の水門町地区に河川公園駐車場の設置工事を進めています。これが終わる次第、引き続き下町橋上流河川敷の整備を、平成七年度完成をめどに実施します。



〔問〕中央公民館、市民文化会館駐車場のスペース不足から、行事がある都度駐車場探しに四苦八苦する。また、市道からの出入口が狭いため、車が大変混雑する。早急に拡充、拡幅するべきだ。
〔答〕市民の皆さんには、大変ご不便をおかけしています。市では現在、駐車スペースを確保するための方法として、市役所駐車場の開放とか、その他の市有地の利用とかを検討しています。また、車の渋滞緩和策として、車が一方通行で回れるように、現在の出入口のほかに反対側に道路を新設できないかと検討中ですので、いましばらく時間をお借りしたいと思えます。

〔問〕市長のいうリング・ロード(市内環状道路)構想から、釈迦内地区がはずれている。獅子ヶ森地区を含め、釈迦内地区